

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科						
科目名	生理学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	神武洋二郎						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の基本構造を説明できる。 ・細胞と組織、器官の概略を説明できる。 ・内分泌ホルモンの生合成・分泌・働きについて説明できる。 ・病態生理の基礎を理解するために必要な用語と理論を修得できている。 						
日程と内容	<p>9/16：導入講義（授業の進め方と概要の説明、成績評価法等）および人体構造と機能の概略 9/23：細胞の構造と基本機能 9/30：消化器系の種類と機能（1） 10/7：消化器系の種類と機能（2） 10/14：血液・造血器・リンパ系 10/21：循環器系-心臓・血管の働き- 10/28：呼吸器系の仕組みと働き 11/2：腎臓の構造と働き 11/11：中間まとめ 11/18：生殖系-生殖器の機能と調節、妊娠と分娩- 11/25：筋肉系の構造と筋収縮による運動 12/2：内分泌器官の構造と機能、および産生ホルモン 12/9：神経系の構造と働き-ニューロン・シナプス伝達・自律神経系- 12/16：免疫系の構成と生体防御機構 12/23：総合まとめ</p>						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	30%					
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の基本構造を説明できる。達成した。 ・細胞と組織、器官の概略を説明できる。達成した。 ・内分泌ホルモンの生合成・分泌・働きについて説明できる。達成した。 ・病態生理の基礎を理解するために必要な用語と理論を修得できている。達成した。 						
反省点	自己学習を促す取り組みが不十分であった。時間が足りずに、説明を省いた回が何度があった。						
来年度の計画	授業のペース配分や、構成を見直し、時間内で全説明が終わるようにする。						
授業評価アンケートに対するコメント	特に、不満コメント等はなかった。分かりやすかったというコメントが多かった。しかし、残念なことに興味を持てたというコメントはなかった。基本知識だけでなく、興味を引く最新知見の導入等、さらなる工夫が必要である。						
履修登録者数	101名	定期試験 受験者数	99名	合格者数	93名	合格率	94%